

◎学習指導等

- 生徒「授業は分かりやすくなる。」が79% [74%]、生徒「学校は1人1台端末を効果的に活用している。」が84% [75%] となり、1台端末を活用した授業など、教員の授業への工夫が結果に表れた。
- 「一番望む授業」については
 - ①高校生として基礎学力が身につく授業
 - ②進路希望が実現できるように学力を高める授業
 - ③生徒に応じて授業レベルやスピードを細かく調整する授業のうち、生徒、教員ではともに①、③がほぼ30%以上となっている。生徒が望む授業と教員の意識が一致していることが生徒の授業の満足度上昇につながった。ただ、保護者の意識としては②が最も多く、①、③の授業から②にある進路実現に結びつくようにしていきたい。

◎生徒指導等

- 生徒「学校へ行くのが楽しい」が85% [77%] となりポイントが大きく上昇した。生徒同士、生徒と教員との関係が良好であり、維持、継続が必要である。
- 3年生対象「自分の希望した進路に満足している」が98% [96%] となり、担任はじめ教員の寄り添った指導により「一人ひとりの生徒が希望する進路」の実現がさらに進んだ。
- 生徒「困った事や悩みがある時、相談できる先生がいる」は70% [64%]、生徒「いじめについて困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」86% [83%] であった。教員がカウンセリングマインドを持って生徒に対応し、教員と生徒との信頼関係がより強くなった。

◎学校運営

- 教職員「緊急の課題に対して迅速な対応ができている」は77% [87%] となった。また教職員「分掌や学年の連携がとれていて、組織的に学校運営が行われている」は71% [80%] となった。アンケートの回収率が昨年より上昇し、100%になったこと、構成メンバーが変わったことなどの要因は考えられる。教職員の意識が高く、まだまだできることがあることの表れとも考えられるので、結果を受け止め次年度に向けて改善の方策を考える。
- 教職員「教職員は生徒の意見、保護者の意見をよく聞いている」について、生徒の意見については75% [92%]、保護者の意見については79% [95%] となった。教職員としては「生徒、保護者の話しをよく聞いてやりたい」という思いはあるが、限られた時間の中でそれができないもどかしさもある。今後も生徒、保護者に寄り添った姿勢を継続、本校の強みとなるようにしたい。